

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	鈴木 順子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b> 総合演習 I で習得した学びに添い、研究を進めていく。演習の仲間とテーマについて考え、意見を共有することで内容を深めていく。7回程度リモート授業を取り入れる。7回程度リモート授業を取り入れる。
--

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b> 授業形態(Class form) 演習 授業の方法(Class method) オンライン授業と対面授業を状況に応じて行なう。講義、演習形式で行う。ディスカッション、グループワークを取り入れる。なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。
--

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	前期総合演習 I の成果における個々の成果	前期総合演習 I の成果における個々の成果の集約を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	今回のテーマの方向性を探る。	今回のテーマの方向性を話し合う。	<input type="checkbox"/>
第4回	テーマについて個々で調べものをする。資料の収集(1)	資料を収集するための手段を聞き、個々に調べる。	<input type="checkbox"/>
第5回	テーマについて個々で調べものをする。資料の収集(2)	資料を収集するための手段を聞き、個々に調べる。	<input type="checkbox"/>
第6回	テーマについて個々で調べものをする。資料の収集(3)	資料を収集するための手段を聞き、個々に調べる。	<input type="checkbox"/>
第7回	テーマについて個々で調べたものをまとめる。	資料に基づき、今まで調べたことをレポートにまとめる。	<input type="checkbox"/>
第8回	第6回でまとめたものを発表	皆の前でまとめたものを発表し、意見交換をする。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究実践のまとめ	研究実践の結果をまとめる。	<input type="checkbox"/>
第10回	研究実践の考察	研究実践の結果を議論し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第11回	研究発表資料の作成	研究発表資料を作成する。	<input type="checkbox"/>
第12回	研究発表パワーポイントの作成	研究発表パワーポイントを作成する。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究発表パワーポイントの作成	研究発表パワーポイントを作成する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表の準備	研究発表の準備をする。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究発表(研究成果の発表)	研究発表会で研究成果を発表し、意見交換する。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)</b> ・事前学習として、今回のテーマの題と内容について考えておくこと。(当日までに2時間程度) ・事後学習としてシラバスに提示した文献資料以外においても収集するように努めること。(次回授業までに2時間程度)
---

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b> 研究報告の課題はコメントを書き、授業開始前に返却する。
--

<b>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</b>		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる保育や子育て支援に関する知識を習得し、それを実践することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を基盤とした専門知識と自らの経験をもとに創造的に考え、課題について判断し、自分の考えを表現し、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して、一つのテーマについて計画し、実践することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業内で提示した課題及び、文献資料収集の報告書等 対面授業に出席することより、オンデマンドの場合は、課題提出により出席とする。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		